

# 尊光寺報

第145号  
令和8年3月

徳島県阿波市市場  
町大野島字天神41  
尊光寺

## 法要・行事のご案内

### ◎春の彼岸会永代経法要

【3月20日(金・祝)】 午後1時より法要・法話  
【3月21日(土)】 午後1時より法要・法話

※21日は仏教婦人会総会を兼ねます。会食は11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

両日とも、どなた様もお気軽にお参りください。  
法話講師：藤井真隆師

(本願寺派布教使 丸亀市真相寺ご住職)

お彼岸とは、さとり彼岸、阿弥陀さまの極楽浄土のことです。お念仏を申し先立つた方々を偲び、この私も同じ念仏に出会い浄土へ参る人生を送っていることに思いを寄せましょう。ご講師の藤井師は2022年以來のお越しです。勢いよく、あたたかく、仏さまのお慈悲を伝えて下さいます。どなたさまもお繰合せ、お誘い合わせ、お参りください。お待ちしております。

### ◎宗祖親鸞聖人降誕会法要

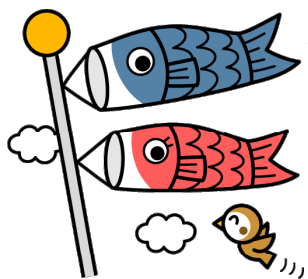
【5月1日(金)】  
午前10時より 法要・法話

つづいて 門信徒総会、会食

※会食準備のお手伝いを下さる方は、9時頃よりよろしくお願ひします。

浄土真宗を開いた親鸞聖人のお誕生を祝う法要です。どなた様もお参り下さい。また、法要・法話の後、門信徒総会、会食をいたします。どうぞ、ご一緒にお席にお着き下さい。

法話：副住職



### ◎ご本山参拝旅行のご案内

日帰り日程 【5月10日】 費用15000円  
一泊日程 【5月10日～11日】 45000円

年に一度のご本山西本願寺参拝旅行のご案内です。

〇〇阿波市大保出発―市場・八幡・土成・上板など各地―京都―10:00大谷本廟(楽入りの法要・納骨、昼食)―本山西本願寺14:00―

日帰り組は、西山浄土宗本山光明寺―淡路島(夕食)―帰路―各地―大保21:00着予定。

一泊組は、光明寺の後―雄琴温泉(琵琶湖グランドホテル)泊―翌朝―八幡山ロープウェイ―八幡堀舟巡り―昼食(近江牛すき焼き)―しやぶしやぶ―百済寺―淡路島(夕食)―帰路―各地―大保20:00着予定。

本山で法名を頂く帰敬式や、大谷本廟への納骨分骨を希望される場合もお申し出下さい。

ご一緒にお参りしましょう。ぜひご予約下さい。お申し込みは尊光寺まで。お待ちしております。



▼本願寺の親鸞さま



▲八幡堀舟めぐり

### ◎徳島仏教婦人会連盟総会

ならびに門信徒研修会

三浦明利さんによる音楽法話コンサート  
【6月2日】  
12時半受付、  
13時開式、  
15時過ぎ終了予定

尊光寺よりバス10時半出発予定、お昼ご飯を食べべて会場に向かいます。

【会場】 藍住町総合文化ホ

ール(藍住町奥野矢上前32-1)

【会費】 3000円(バス代、昼食代、参加費を含む)

1000円(直接会場集合の場合)

【申込】 事前に申し込みをお願いします。尊光寺まで。

講師の三浦明利さんは、奈良県光明寺のご住職。学生時代にはバンドを結成し、数々の賞を受賞。お寺を守る住職であり二児の母でもある。ギターによる弾き語りや法話を行い、



その生き様が、テレビや新聞にも取り上げられています。CDや著書も販売中です。

### 第二子女の子が生まれました

昨年十二月十五日、副住職夫妻のもとに長女となる第二子が生まれました。

名は「咲良音(さらね)」と申します。どうぞお引き立てのほどをよろしくお願ひ申し上げます。

名前の咲良音の「咲」は「笑」という字のもととなった本字で、古いお経には、仏さまが微笑まれる様子が「咲」の字で表現されています。良き音や声に包まれて微笑み多い人生を送って欲しいと願った名前です。

退院の日は、報恩講の日でした。お参りの方々にも祝福を頂き、有り難いご縁となりました。

また、兄となった長男の燈樹は、戸惑いもあるようですが、「さらちゃん」と呼びながら、妹をかわいがってくれています。

「子どもが親を育てる」と言うように、子育ての中で感じ、学び、子どもとともに成長してゆける有り難さをかみしめています。



### 本堂にエアコンを

現在、本堂にエアコンを設置する計画を進行中です。近年の夏は最高気温が35度を超える日も増えてきました。本堂でご法事をなさる方、お参りの方、また日々読経する我々も、さすがに頭がクラクラとしてきました。電気代は上がりますが仕方ありません。夏に間に合うように設置できればと計画中です。

# 帰入功德大宝海 必獲入大会衆数

【訓読】功德大宝海に帰入すれば、かならず大会衆の数に入ることを獲る。

【現代語訳】本願の名号に帰し、大いなる功德の海に入れば、浄土に往生する身と定まる。

前回は、「広由本願力回向 為度群生彰一心」の話を行いました。阿弥陀如来は、我々を浄土に生まれさせようとご自身の功德を私たちに振り向けて下さり、私たちはその功德を「一心」として頂くという話でした。少し補足しますと、「一心」とは、阿弥陀如来の「必ず救うまかせよ」という仰せを、疑いを差し挟むことなくそのまま聞く心です。二心の無い心ですから「一心」と言われるのです。また、阿弥陀如来から振り向けられた心ですから、そのお心を聞く者はどのような者であろうと同じ功德を頂きますから「一心」と言われます。それを「信心」とも言うのです。ここではこの一心と表される信心が、自分で起こす信心ではなく、阿弥陀如来の側で用意されたものであることを表そうとしているのであります。念仏申す者は、同じ信心をいただき、同じ浄土へと歩みを進めているのです。

今回は、前回に続く「帰入功德大宝海 必獲入大会衆数」に入ります。

「功德大宝海」とは、阿弥陀如来の名号「南無阿弥陀仏」のことを言います。阿弥陀如来はその功德を名号に込めてはたらく仏さまですから、その名号を功德の宝の海にたとえるのです。海にたとえたのは功德が欠けることなく満ちていることを表すようです。阿弥陀如来は、私たちを、信じさせよう、念仏させよう、浄土に往生させよう、願われた仏さまです。つまりその名号は、私たちが、信じ、念仏し、浄土に往生する功德がつまったものなのです。「帰入」とは、阿弥陀如来のその願いを聞き、疑いなくうなずいてゆくことを指しています。

「大会衆」とは、もともとは、浄土で阿弥陀如来が説法をされる集會に集う仲間たちのことを言います。ここでは、この世において、阿弥陀如来の願いを聞く者は、浄土に集う者たちの仲間入りをするという意味で使われています。阿弥陀如来の願いをうたがないく聞くと言うことは、この命が終わると同時に浄土に救われていくことを聞くことであるから、この身は命が終れば浄土に生まれていく身であると定まっているのだと知らされることであります。

煩惱に振り回されフラフラと生きてゆかねばならないこの身に、命の行先が浄土であると知らされることになるのです。命の行く先が浄土だと保証されていることは、大きな安心を与えてくれます。

はじめての土地で路線バスに乗ったとき、このバスは自分の目的地に向かうだろうかと不安で仕方ありません。外の景色を確認したり路線図を見たり、自分が降りるバス停は次か次かと不安になりソワソワします。一方、高速バスに乗り、行先が明示されている場合はどうでしょうか。自分は必ず目的地に着くことができるかと安心して、ウトウトすることも、また目的地に思いを馳せてワクワクすることもできます。

お念仏に出会うということは、人生の行く末が必ず浄土で間違いなく知らされることです。命の行き先の不安は解消され、安心の中で人生を歩むことができます。また、浄土へ参る仲間になるのですから、先に浄土へ行かれた人との再会を、期待することもできるのです。また、後から浄土に来るであろう人のことも思うことができます。



お陰さまで息子は三才になり、稚児衣装を着て本堂で手を合わせました。じつとしてお経を聞くことは難しいですが、その両手が合さりやす。お念仏に出遇えてよかつたねと、本人よりも私が嬉しいのです。

## 副住職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中です。

### 仏教講座『正信偈(しょうしんげ)』

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

●毎月第3金曜日 10時半～12時 月額 3300円

### 親鸞聖人と『歎異抄(たんにしよう)』

「悪人こそが救われる!?!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がまつまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわつてまいりましょう。

●毎月第2月曜日 13時半～15時 月額 3300円

### 【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校

徳島市寺島本町西1-5 アニコ東館7階

TEL 088-611-3355



## 令和8年 年忌表

令和8年の法事と亡くなった年

- 1周忌 令和 7(2025)年
- 3回忌 令和 6(2024)年
- 7回忌 令和 2(2020)年
- 13回忌 平成26(2014)年
- 17回忌 平成22(2010)年
- 25回忌 平成14(2002)年
- 33回忌 平成 6(1994)年
- 50回忌 昭和52(1977)年
- 61回忌 昭和41(1966)年
- 100回忌 昭和 2(1927)年
- 150回忌 明治10(1877)年
- 200回忌 文政10(1827)年
- 250回忌 安永 6(1777)年
- 300回忌 享保12(1727)年

過去帳やお位牌をご覧ください。

# 春の彼岸会永代経法要

2026 3月20日（金曜・春分の日） 21日（土曜）

両日とも午後1時より お勤めと法話

※ 21日は、仏教婦人会総会を兼ねてお勤めします。会食は11時半より。  
準備お手伝いくださる方は9時頃よりお願いいたします。

お彼岸とは、さどりの岸、阿弥陀さまの極楽浄土です。お念仏を申しつつ先立つた方々を偲び、この私も同じ彼岸へ参ることに思いを寄せましょう。どなたさまもお参りください。お待ちしております。

法話講師 藤井 真隆 師

（本願寺派布教使 丸亀市真相寺ご住職）

ご講師の藤井師は2022年春以来のお越しです。

勢いよく、あたたかく、仏さまのお慈悲を伝えて下さいます。

分かりやすくお話し下さいますので、是非ともご一緒にお話をお聞きしましょう。



2026

五月一日（金）

午前十時より お勤めと法話

続いて門信徒総会、慶讃会食

食事準備お手伝い下さる方は9時頃よりお願い致します。

宗祖しゅうそ親鸞しんらん聖人しょうにん降誕ごうたん会え法要

ならびに門信徒総会・会食

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のお誕生をお祝いし、

この私に南無阿弥陀仏の念仏が届いていることを喜ばせていただきましょう。

法話 副住職 赤松信映

どうぞ どなたさまも お参りください。

浄土真宗本願寺派

尊光寺

# —2026(令和8)年ご本山参拝旅行のご案内—

年に一度のご本山西本願寺への参拝旅行です。どうぞご予定下さい。

【日帰り】と【一泊】の行程がありますので、どちらかお申し込み下さい。西本願寺の参拝と親鸞聖人の納骨所である大谷本廟参拝・納骨に加えて、【日帰り】は、西山浄土宗本山の光明寺を参拝。【一泊】は、光明寺参拝の後に雄琴温泉宿泊、翌日は八幡堀の舟めぐり、湖東の名刹である百済寺参拝を予定しております。

大谷本廟に納骨・分骨を希望の方はお申し出下さい。

本願寺にて法名を頂く帰敬式(おかみそり)を希望の方はお申し出下さい。

## ■ 日程・費用 ■

### 【日帰り】15000円(バス・昼食・夕食)

**2026年5月10日** 6:00阿波市大俣出発——市場・八幡・土成・板野など各地——京都——10:00大谷本廟(法要・納骨・昼食)——12:30西本願寺(参拝)14:00——光明寺(参拝)——淡路島(夕食)——帰路・大俣21:00頃着

### 【一泊】45000円(バス・宿泊・食事)

**2026年5月10日** 6:00阿波市大俣出発——市場・八幡・土成・板野など各地——京都——10:00大谷本廟(法要・納骨・昼食)——12:30西本願寺(参拝)14:00——光明寺(参拝)——お宿(琵琶湖グランドホテル)

**5月11日** 8:30お宿出発——八幡山ロープウェイ——八幡堀(舟めぐり)——昼食(近江牛すき焼き/しゃぶしゃぶ)——百済寺(参拝)——淡路島(夕食)——帰路・大俣20:00頃着



京都西本願寺



大谷本廟参拝・法要

お申し込み/尊光寺 0883-36-3026

# 徳島仏教婦人会連盟総会

## ならびに門信徒研修会 ご案内

このたび、徳島仏教婦人会連盟総会ならびに門信徒研修会が開催されます。

今回は、僧侶でシンガーソングライターの三浦明利さん<sup>みうらあかり</sup>による音楽法話コンサートです。  
仏教婦人会会員の皆さまはもとより、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

■日 時：2026(令和8)年 **6月2日(火曜日)**、

12:30~受付、13:00~総会・式典、

13:30~音楽法話コンサート、15:00過ぎ終了予定

尊光寺よりバス10:30出発予定、お昼ご飯を食べて会場へ向かいます。

■会 場：藍住町総合文化ホール(藍住町奥野矢上前32-1)

■会 費：3000円(バス代、昼食代、参加費を含む)／現地集合の方は1000円

■申 込：事前の申し込みをお願いします。尊光寺(0883-36-3026)までメ切 5月20日

### ■三浦明利(みうらあかり)プロフィール■

奈良県 光明寺住職 / シンガーソングライター

お寺を守る傍ら、ギターによる弾き語りで、全国各地で演奏活動を行う。仏教の心を盛り込んだメッセージ性の強い歌詞と耳に残るメロディーで作詞作曲する。

法話と演奏をミックスさせたスタイルが特徴。

バンド時代には数々のコンテストでグランプリを受賞。本願寺仏教音楽・儀礼研究所研究生を経て、ポピュラリティーを追求した仏教音楽の研究を行う。2008年、25歳で住職となり、2011年龍谷大学大学院修了。同年、シンガーソングライターとしてCD「ありがとう」でメジャーデビュー。また、初の著書『わたし、住職になりました』(アスペクト刊)全国発売。住職、シンガーソングライター、二児の母としての生きざまが、新しい女性の生き方として注目され、新聞やテレビ、ドキュメンタリー映画でも取り上げられている。



赤松信映 尊光寺副住職

書道作品展示

ぼく ぼく  
「墨と僕②」

最近制作の書道作品をカフェ カシュカシュの壁に展示します。  
カシュカシュさんの美味しいコーヒーを味わいながら、ご覧下さい。

■期間 2026年6月8日(月)～6月20日(土)

■場所 カフェ カシュカシュ

吉野川市鴨島町知恵島1542 0883-30-0520

朝7時～夕方5時頃まで営業(不定休)



— 赤松信映 / 尊光寺副住職 書歴 —

2019年日展入選、2025年読売書法展奨励賞、徳島県展準特選  
など